

種時々入

令和4年9月7日
深田小学校便り 17号



感動創造

「子どものためによい罰などありません」アルフレッド・アドラー（心理学者）
「子どもにはどんな罰が一番よいでしょうか？」と聞かれて答えた言葉

「子供には批評（叱られること）より手本が必要である」とは、ジョセフ・ジュベール（フランスの哲学者・随筆家）の言葉です。

深田っ子集会 8/30

8月及び9月生まれの人のお祝いと積み木を高く組むゲームを行いました。ゲームは大盛り上がりでした。



集団宿泊教室を実施 9/1～9/2

自然の中での活動を通じ自然や地域に共感し、仲間や他の利用者等と交流を深め、いろいろな学びにチャレンジし自分自身を向上させるという「共感・交流・向上」が、あしきた青少年の家がめざすものです。本校の5年生17人が須恵小の5年生とともに、集団生活と自然体験活動を行いました。ペーロン船はできませんでしたが、よい思い出になったようです。

「くまもと 早ね・早起き いきいきウィーク」について

「認定こども園・幼稚園・保育所等、小学校、中学校、義務教育学校、特別支援学校（幼稚部、小学部、中学部）が連携して、子どもたちに基本的な生活習慣を育成するための取組を県下一斉に実施することにより、たくましく心豊かな熊本の子供を育む意識の高揚を図る」という趣旨のもと実施されます。

本校では、がんばりウィークに合わせて実施します。家庭でも、午後10時前までの就寝・テレビやスマホ及びゲーム使用のルール作り・朝ごはんの摂取の大切さなど、ご指導をよろしくお願いします。



あさぎり町にも、「五者連携子育てモデル」があります。テーマは「子供は地域の宝！学校・家庭・地域・行政の連携と協働の充実で地域ぐるみで子供たちを育てましょう」で、その土台として「基本的生活習慣の確立」「親子の信頼関係の確立」「地域の協力」「お腹いっぱい（朝ごはん）」「愛情いっぱい（信頼関係）」「夢いっぱい（がんばる力）」と定められています。

※「子育て四訓」を裏面に掲載しています。